



特別展

江戸絵画の美



江戸時代、木更津船の独占的航行権によって、木更津は房総を代表する湊町、物資の集積地として、大きく発展しました。また、江戸から約40kmの対岸に位置することから、手軽な房総路の入口として、木更津には多くの人たちが訪れています。

人の往来は多くの文物とともに、その時の文化を伝えます。江戸で流行ったもの、人々の嗜好も時を隔てることなく木更津に

も届いたことでしょう。江戸という時代を飾った多くの絵画は、木更津でも憧れのものとして人々の目に写っていたと思われます。

本展覧会は市制施行80周年を記念し、絵画を所有する市民の皆さまの協力を得て、江戸時代の絵画をご覧いただくこととなりました。大切に伝えられてきた、重要美術品を含む名作が並びます。



花鳥人物図画帖 狩野探雪「鍾馗図」



狩野惟信「獅子図」



円山応挙「鯉図」



花鳥人物図画帖 狩野益信「唐子遊図」



渡辺華山「歳寒二友図」

【主な展示絵画の絵師】

谷文晁・金子金陵・立原杏所・渡辺華山・椿椿山・高久靄厓・
福田半香・中林竹洞・山本梅逸・田能村竹田・皆川淇園・
与謝蕪村・池大雅・日根対山・土佐光起・酒井抱一・
鈴木其一・円山応挙・松村景文・森祖仙・英一蝶・
狩野山雪・狩野常信・狩野惟信・狩野栄信

